

こだま新聞

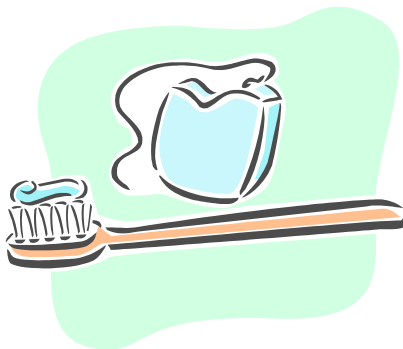
第150号
平成20年4月

歯科の治療とは

歯を検査して、虫歯を見つければ「虫歯を治療しましょう」とよく言います。歯科の場合の「治療」と医科で言う「治療」は意味が違いますが患者さんを混乱させているのではないかと感じることはありません。

医科で言われる「治療」は病気になる部分回復させて健康な状態に戻すことを言いますが、歯科の場合は病気を除去して病気の進行を止めることを言います。健康な状態に回復させることはできません。それは口腔と言う特殊な環境で発生した病気だからだと思えます。

歯の病気である虫歯は完成し



た成長の止まった歯に生じた病気なので、進行を止めることはできません。元の状態（本来の健康な歯）に戻すことはできません。細菌によって侵食された部分を削り取って、健康な部分だけを残し、失われた部分をプラスチックや金属、陶材などで修復し機能を回復（リハビリ）しています。従ってどんなに治療しても元の状態に戻すことはできませんから上あわせを100%回復させることも難しいです。歯が欠けたら、割れたりすることもあります。

歯周病は歯を支えている歯の周囲の組織（歯肉、顎の骨など）

が細菌によって炎症を起こし破壊されていく病気ですが、顎の血流は体の中で一番悪いところで皮膚などで生じる炎症と比較して非常に回復しにくい場所です。そのため一度炎症を起こすと自然回復は難しく病気が進行しやすい所です。

また、手足の骨は露出してしまっているので細菌が入ることは希ですが、顎の骨は、歯が外界と交差しているため細菌が入りやすくなっているため病気が進行しやすい要因となっています。

これらのことを考えると歯科の治療はどちらかと言う機能回復（リハビリ）に近いのかなと思います。

一度、虫歯や歯周病になれば元通りになることは難しいと考えて、虫歯や歯周病にならないように努力することをまず考えて下さい。

保険改正

今月から75歳以上の方は全員後期高齢者保険に加入しました。保険証が変わりますので、しばらくの間窓口で再度保険証の確認をさせていただきますので、ご協力お願いいたします。

4月1日から、前期高齢者と

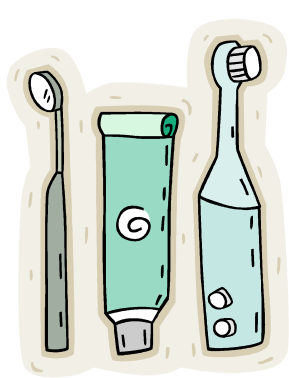
後期高齢者という区分もなされて大変分りづらくなっています。また、暫定的に窓口負担も変更になったりして、保険証で会計が変わりますので混乱を避けるために一度保険証をお持ちくださるようお願いいたします。

新人紹介

長年勤務していただいた畠山陽子さんが2月20日で退職しました。後任として3月から村井千尋さんという新人が勤務しております。村井さんは今年3月に高校を卒業したばかりの新人です。

主に受付と事務を行ってまいりますので、電話をいただいたり、会計をしたり、次回の予約をしたりと皆様とお話する機会が増えます。まだまだ不慣れな点も多くご迷惑をおかけする場合も多々あると思います。

しばらくの間、ご容赦のほど、よろしく願いたします。



会計や予約など分りにくいことがあります。お手数をおかけしますがどうぞ気軽に声をかけてください。

今月の行事

4月

1日 保険改正

後期高齢者保険開始

3日 一日市盆踊実行委員会

4日 小中学校始業

4日 一日市上町商店街総会

4日 浦城の歴史 理事会

4日 メリウス定例会

5日 男鹿南秋歯科医総会

午後休診

8日 幼稚園入園式

12日 クライン会計監査会

16日 路上ミュージカル委員会

17日 粗大ゴミ搬入 23日

17日 幼稚園フッ素洗口説明

19日 メリウス総会

24日 一日市盆踊実行委員会

29日 昭和の日 休診

5月3日 5日 休診